JSP ニュース

2017年 夏

No.82

証券コード：7942

第59期 報告書　平成28年4月1日～平成29年3月31日

社長メッセージ

Message from the President

代表取締役社長　**酒井　幸男**

JSPニュース　No.82　Contents

社長メッセージ …… 01
特集 …… 03
トピックス …… 05
株主アンケート …… 06
連結財務ハイライト …… 07
連結セグメント情報 …… 08
要約連結財務諸表 …… 09
JSPカレンダー …… 11
株主優待制度／配当実績 …… 12
会社情報 …… 13
表紙の写真 …… 14

1 社長就任初年度の振り返り

社長就任に際して4つの事項を上げました。

第1には、安全安定な生産活動です。製造業において一番重要なことは、無事故無災害、安全安定な生産活動です。安全は事業活動の基盤であり、安全確保は社会への責務です。生産は工場で行われるので、本社、営業所は関係ないように思われますが、そうではなくすべて役員社員が一番重要なことは安全と考えてもらいたいと思い、色々な会議などで話してきました。安全成績は必ずしも良くなってはいませんが、今まで以上に意識は高まっていると思います。安全活動に終わりはなく、今後も追求し続けていきます。

第2には経営理念の周知徹底です。JSPの経営理念は「創造的行動力による社会への貢献」です。我々が考えなければならないのは、物を売って利益を上げるのではなく、顧客の皆さんから製品の価値を評価して頂きその対価で利益をあげる事です。物を作る側の論理ではなく、使用する皆さんの立場で考えていきたいと思っています。基本的にはその考えで仕事が出来ていると思いますが、更に徹底したいと思っています。

第3は風通しの良い職場です。それにはコミュニケーションが重要です。現場を知るために、各工場、営業所を訪問しました。QC報告会にもすべて出席しました。JSPの現場力を感じることが出来ました。JSPに働く皆さんの力を結集する事ができれば更に飛躍することが出来ると思いました。そのためには更なるコミュニケーションが必須です。この件に関しては他の役員の皆さんとも相談し、更に注力していきます。

第4は共感を得られる方針です。これはこれからです。次期中期経営計画に向けて準備をはじめています。

2016年度の業績は、売上高は、109,048百万円（前期比5.1％減）と減収になりましたが、営業利益は9,612百万円（同3.6％増）、経常利益は10,033百万円（同10.2％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7,301百万円

（同23.5％増）と増益になり、いずれの利益も前連結会計年度に引き続き最高益更新となりました。原燃料価格の低位安定が寄与しているのは事実ですが、付加価値の高い製品の販売が好調であるなど高収益型企業へと向かっている事も事実です。とは言ってもまだまだ外部環境に影響されやすいので、手を休めることなく構造改革を進めていきます。

2 中期経営計画の最終年度

2017年度は中期経営計画の最終年度です。計画を策定した時と原燃料価格や為替など違っている部分がありますが、基本的な考え方である高収益型企業へ向かう事には変わりはありません。国内では、独自技術に基づいた差異化製品である耐熱食品容器、建築・住宅向け高断熱材および液晶テレビ基板の輸送用緩衝材、自動車のシートコア材等の販売に注力していきます。また弛まぬコストダウンは、製造の基本ですべての事業に係るものです。確実に実行していきます。海外事業は、欧米はピーブロックのシートコア材など自動車部品への採用拡大が進展し好調です。中国も自動車市場の拡大と軽量化が進むので販売は好調に推移すると思います。全体として販売は伸びますが、原料価格の上昇があり、収益は前期を少し下回ると想定しています。

3 長期を見据えた施策

次期中期経営計画の策定が今年後半に行われます。今回は少し先を見て我々はJSPをどのような会社にしたいのか？の議論から始め、それを達成するための中期経営計画にしたいと思っています。

JSPの強みとして顧客の方々との信頼があります。これをさらに磨きをかけて、「何かあったらJSPに相談したい。」そういう会社になりたいと思います。技術力が優れていることは当然ですが、作る立場からではなく、使う立場から考えて、顧客の方々から信頼される製品を作っていきたいと思います。

財務的な数値だけではなく、サステナビリティも重視した経営に取り組んでいきたいと思います。現にCO_2排出量削減や原単位向上、水の使用量削減などに取り組んでいます。また世界各国で事業を営みさらに拡張しようとしていますので、人材育成に関しては更に注力していかなければならないと思っています。

4 株主・投資家の皆様へ

何度も申していますが、JSPは製造業ですので、安全安定な生産活動、無事故無災害を基盤として、中期経営計画の達成を目指します。昨年度は、原燃料価格が低位安定していた事と高付加価値製品の進展もあり、一昨年度に続き史上最高の利益をあげる事が出来ました。しかし、外部環境は刻々変化しています。さらなる成長を続けるためには、顧客視点からの用途拡大、高機能、高付加価値製品の拡充を進め、更なる高収益体質へ進めてまいります。海外のピーブロックは好調を維持しており、タイムリーに拡大を図ります。これに続く第2の柱の構築が必須であり、全社を挙げて取り組んでまいります。次期中期経営計画は10年先のJSPを見据えて、策定に当たります。

企業価値向上に資する「攻めのコーポレートガバナンス」を有効に機能させ、環境安全管理の徹底、内部統制の強化によりリスクおよびコンプライアンス管理の徹底、人材育成により強い企業体質の構築に取り組んでまいります。

また適切な情報開示により、JSPをより理解して頂けるように努力してまいります。

平成29年6月

酒井幸男

中国武漢の新工場

中国で5つ目のピーブロック工場
旺盛な自動車需要に対応するため早期に能力倍増へ着手

当社は、中国湖北省武漢市で建設していた発泡ポリプロピレンのピーブロック（EPP）の工場が竣工し、稼動を開始しました。

同工場は当社にとって中国で5箇所目のピーブロックの生産拠点になります。

当工場の年間生産能力は3,000トンで、投資金額は約12億円。

中国全体での生産能力は2万4,000トンに増強されました。

当社は従来、華東地区の無錫工場及び華南地区の東莞工場からピーブロックを生産供給していましたが、この武漢工場の完成・稼動開始で主に自動車部材向けで需要が急速に伸びている華中地区、西南地区への生産供給体制を構築しました。

バンパーコア材、内装材、リアシートコア材など軽量化による燃費効率化、安全性の強化に貢献する素材として中国でも現在大幅に需要が拡大しており、日系、外資系だけでなく民族系の自動車メーカーにも幅広く採用されています。

このような状況下、更なる需要の拡大に対応するため、今年秋の稼動を目処に同工場の2倍程度の能力増強に着手します。

当社の中国での生産拠点は、東莞、無錫、武漢、重慶、長春の5拠点となりましたが、同国での自動車生産の華北、東北地区への拡大に対応すべく華北地域（北京・天津）地区への拠点を拡大し4極体勢での生産を実現すべく今後も中国での投資を継続して参ります。

が完成しました。

オープニングセレモニーを実施

また、2017年5月9日には武漢工場の開所式が執り行われました。当日は、酒井社長、臼井副社長（当事専務）をはじめとした役職員他、多数の関係者の方々が出席されました。

酒井社長挨拶

テープカット

記念植樹

【新会社の概要】

❶社　　名：杰斯比塑料（武漢）有限公司
❷所　在　地：中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
❸事 業 内 容：発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
❹総 投 資 額：約12億円
❺敷 地 面 積：21,000㎡
❻建 築 面 積：7,920㎡
❼生 産 開 始：2017年5月
❽年間生産能力：3,000トン

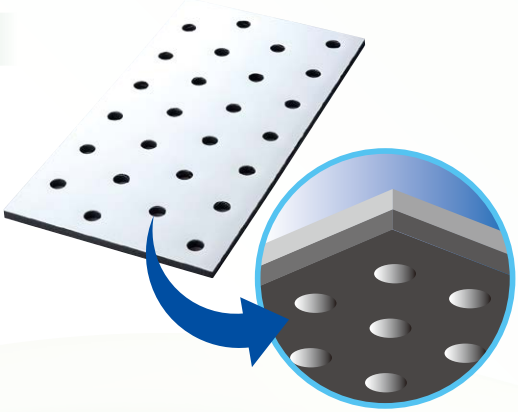
新製品

植物育成環境改善の新製品！

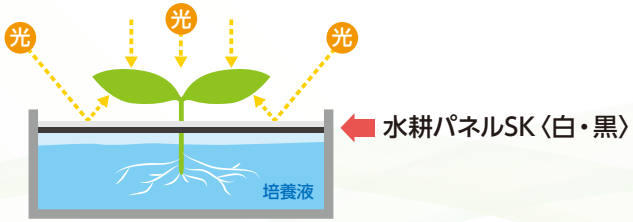
水耕パネルSK〈白・黒〉

植物工場で水耕パネルSK〈白・黒〉を使うことで、より安全で快適な植物栽培を実現。

特 長



- 表面のスキン加工により、清掃がしやすく、衛生的な環境を保つことが可能です。
- 表面が白、裏面が黒の仕組みで、植物の成長を促進します。



- パネルの白い表面により、光が植物の葉裏まで反射します。また、黒い裏面により、培養液が入った浴槽に光を通さず藻の発生を防ぎます。

レタスや水菜、ベビーリーフなどの栽培に最適です。

＜問合わせ窓口＞
㈱JSP　生活産業資材事業部　ディスプレイ資材部
折材・ボードグループ　TEL：03-6212-6337

アンケートのお願い

Questionnaire

株主の皆様のお声を頂戴いたしたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1　あなたの性別は？

①男性　②女性

Q2　あなたの年齢は？

①20代以下　②30代　③40代　④50代　⑤60代　⑥70代以上

Q3　当社株式の保有期間を教えてください。

①1年未満　②1～2年　③2～3年　④3～5年　⑤5～10年　⑥10年以上

Q4　当社を知ったきっかけを教えてください。

①会社四季報・日経会社情報　②投資関連雑誌・優待関連雑誌　③証券会社からの紹介
④新聞記事・広告　⑤インターネットサイト（yahooファイナンス等）　⑥JSPの職員、OB、家族
⑦その他＿＿＿＿＿＿

Q5　当社株式を買った決め手を教えてください。

①株主優待（クオカード）　②配当性向　③将来への成長性　④ROE他指標　⑤その他＿＿＿＿＿＿

Q6　当社に期待することは何ですか？

①株主優待（クオカード）の継続　②配当の継続、増配　③業績の向上　④事業の拡大
⑤社会貢献・環境配慮　⑥自社株買いの実施　⑦その他＿＿＿＿＿＿

Q7　あなたがJSPニュースで知りたい情報は何ですか？

①社長メッセージ　②事業の状況　③新製品情報　④将来への投資の情報　⑤従業員の声
⑥その他＿＿＿＿＿＿

Q8　JSPニュースについて教えてください。

①非常に分かりやすい　②分かりやすい　③どちらとも言えない
④分かりづらい　⑤非常に分かりづらい

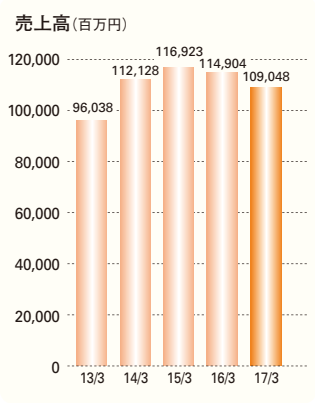
※同封の回答用ハガキに、上記質問へのご回答をご記入いただき、平成29年7月31日迄に郵便ポストへご投函をお願い申し上げます。

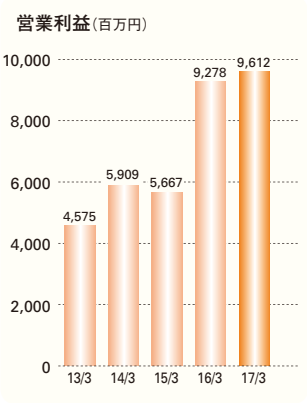
今回、アンケートにご協力いただいた株主の皆様の中から抽選で10名様に500円分の図書カードを謝礼として進呈いたします。当選者の発表は発送を以ってかえさせていただきます。

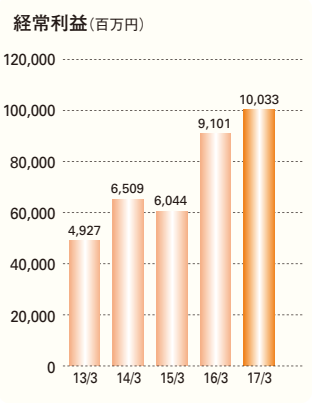
連結財務ハイライト

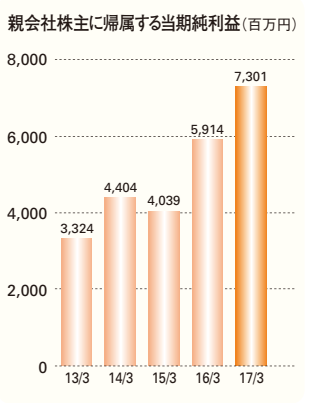
Consolidated Financial Highlights

（単位：百万円）	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3
売上高	96,038	112,128	116,923	114,904	109,048
営業利益	4,575	5,909	5,667	9,278	9,612
経常利益	4,927	6,509	6,044	9,101	10,033
親会社株主に帰属する当期純利益	3,324	4,404	4,039	5,914	7,301
純資産	53,431	62,375	70,352	72,497	76,778
総資産	95,565	108,420	116,717	115,136	113,151
（単位：%）					
売上高営業利益率	4.8	5.3	4.8	8.1	8.8
売上高経常利益率	5.1	5.8	5.2	7.9	9.2
売上高当期純利益率	3.4	3.9	3.5	5.1	6.7
（単位：円）					
1株当たり当期純利益	111.49	147.73	135.50	198.40	244.94
1株当たり純資産	1,671.55	1,940.48	2,190.61	2,277.32	2,433.10
（単位：百万円）					
設備投資	6,215	8,735	7,575	6,341	6,236
減価償却費	4,390	4,865	5,327	4,903	4,952









連結セグメント情報

Consolidated Segment Information

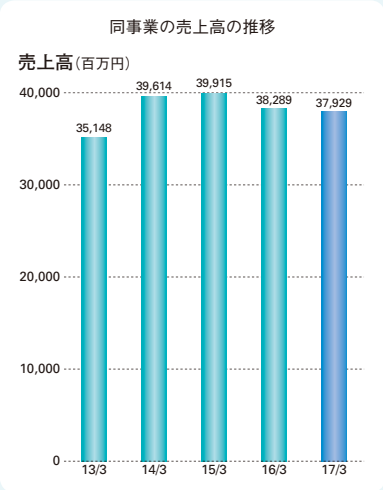
押出事業

製品価格改定の影響を受け売上は減少しましたが、高付加価値製品の販売増や製造コスト低下になどにより営業利益は増加しました。

ポリスチレンペーパー
（食品容器）

ミラフォーム
（断熱材）

ミラフォームラムダ（断熱材）



ビーズ事業

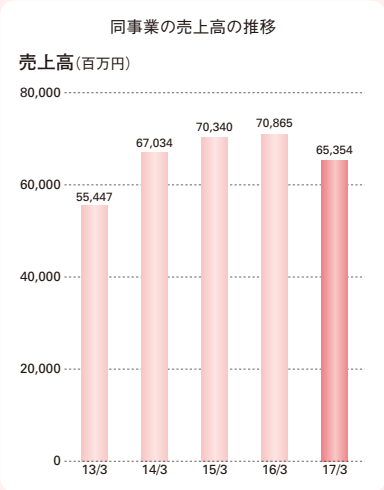
ビーズ事業全体の販売数量は増加しましたが、製品価格の改定や海外事業の外貨円換算額減少の影響により売上、利益共に減少しました。

スチロダイア
（魚箱・野菜箱）

スーパーブロー
（ユニットバス天井材）

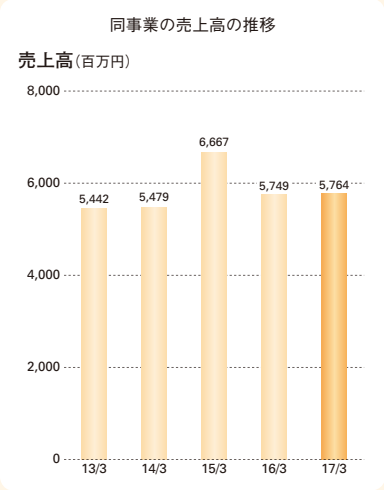
ピーブロック
（緩衝材）

ピーブロック（自動車部材）

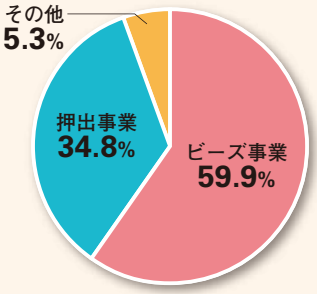


その他

国内では、上期の災害による影響を受け売上は減少しましたが、中国では新製品・新用途の拡販が寄与したことにより売上が増加しました。利益面では国内の合理化や中国での売上増加により増益となりました。



事業別売上高構成比



要約連結財務諸表

Summary of Consolidated Financial Statements

要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

（資産の部）	当　期 2017年3月31日現在	前　期 2016年3月31日現在	前期比増減額
流動資産	60,208	62,672	△ 2,463
現金及び預金	13,436	16,003	△ 2,566
受取手形及び売掛金	29,785	30,046	△ 261
有価証券	139	121	17
商品及び製品	6,310	6,534	△ 224
仕掛品	779	891	△ 111
原材料及び貯蔵品	4,398	4,044	354
その他	5,568	5,328	239
貸倒引当金	△ 209	△ 298	89
固定資産	52,943	52,464	478
有形固定資産	49,008	48,413	594
建物及び構築物	15,550	15,886	△ 336
機械装置及び運搬具	15,289	15,319	△ 29
土地	14,451	14,476	△ 24
その他	3,716	2,731	984
無形固定資産	977	934	42
投資その他の資産	2,957	3,116	△ 158
投資有価証券	1,650	1,833	△ 182
その他	1,861	1,634	227
貸倒引当金	△ 554	△ 350	△ 203
❶ 資産合計	113,151	115,136	△ 1,984

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（負債の部）	当　期 2017年3月31日現在	前　期 2016年3月31日現在	前期比増減額
流動負債	29,667	31,894	△ 2,226
支払手形及び買掛金	9,298	8,520	777
短期借入金	5,989	6,201	△ 211
1年内返済予定の長期借入金	3,861	4,961	△ 1,099
その他	10,517	12,209	△ 1,692
固定負債	6,705	10,744	△ 4,039
長期借入金	4,756	8,415	△ 3,659
退職給付に係る負債	134	549	△ 415
その他	1,815	1,779	35
❷ 負債合計	36,373	42,638	△ 6,265
（純資産の部）			
株主資本	73,488	67,420	6,067
資本金	10,128	10,128	―
資本剰余金	13,405	13,405	―
利益剰余金	51,336	45,267	6,069
自己株式	△ 1,382	△ 1,380	△ 2
その他の包括利益累計額	△ 955	469	△ 1,425
その他有価証券評価差額金	239	252	△ 13
為替換算調整勘定	△ 1,694	68	△ 1,763
退職給付に係る調整累計額	499	148	350
非支配株主持分	4,245	4,607	△ 361
純資産合計	76,778	72,497	4,280
負債純資産合計	113,151	115,136	△ 1,984

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❶資産合計
当連結会計年度末における総資産は113,151百万円で、前連結会計年度末に比べ1,984百万円減少しました。このうち流動資産は2,463百万円減少し、固定資産は478百万円増加しました。

❷負債合計
負債は36,373百万円で、前連結会計年度末に比べ6,265百万円減少しました。このうち流動負債は2,226百万円減少し、固定負債は4,039百万円減少しました。

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

	当　期 2016年４月１日から 2017年３月31日まで	前　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前期比 増減額
売上高	109,048	114,904	△ 5,855
売上原価	75,182	81,035	△ 5,852
売上総利益	33,865	33,869	△ 3
販売費及び一般管理費	24,252	24,590	△ 337
営業利益	9,612	9,278	334
営業外収益	642	661	△ 19
営業外費用	221	839	△ 617
経常利益	10,033	9,101	931
特別利益	53	315	△ 262
特別損失	73	664	△ 591
税金等調整前当期純利益	10,013	8,752	1,261
法人税等	2,525	2,720	△ 195
当期純利益	7,487	6,031	1,456
非支配株主に帰属する当期純利益	185	117	68
親会社株主に帰属する当期純利益	7,301	5,914	1,387

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❹営業利益、経常利益、当期純利益
海外事業の外貨円換算額の減少による影響はありましたが、原料安が継続したことや付加価値の高い製品の販売が好調であったことにより増益となりました。これらの結果、営業利益は9,162百万円（前年同期比3.6％増）、経常利益は10,033百万円（同10.2％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7,301百万円（同23.5％増）となりました。

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	当　期 2016年４月１日から 2017年３月31日まで	前　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前期比 増減額
当期純利益	7,487	6,031	1,456
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△ 13	△ 16	3
為替換算調整勘定	△ 2,076	△ 2,602	525
退職給付に係る調整額	350	△ 132	483
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0	0
その他の包括利益合計	△ 1,739	△ 2,751	1,011
包括利益	5,748	3,280	2,467
（内訳）			
親会社株主に係る包括利益	5,876	3,485	2,390
非支配株主に係る包括利益	△ 127	△ 204	77

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

要約連結キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	当　期 2016年４月１日から 2017年３月31日まで	前　期 2015年４月１日から 2016年３月31日まで	前期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,688	13,849	△ 3,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,188	△ 6,001	△ 187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,497	△ 5,907	△ 590
現金及び現金同等物の期末残高	7,965	10,295	△ 2,329

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

❸売上高
売上高は、販売数量は増加したものの、製品価格改定の影響や円高による外貨円換算額の減少により109,048百万円（前年同期比5.1％減）と減収になりました。

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当連結会計年度	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2016年4月1日残高	10,128	13,405	45,267	△ 1,380	67,420	252	68	148	469	4,607	72,497
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,341		△ 1,341						△ 1,341
親会社株主に帰属する当期純利益			7,301		7,301						7,301
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2
連結範囲の変動			109		109						109
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 13	△ 1,763	350	△ 1,425	△ 361	△ 1,786
連結会計年度中の変動額合計	－	－	6,069	△ 2	6,067	△ 13	△ 1,763	350	△ 1,425	△ 361	4,280
2017年3月31日残高	10,128	13,405	51,336	△ 1,382	73,488	239	△ 1,694	499	△ 955	4,245	76,778

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2016

11 November

九州工場が、九州産業保安監督部長表彰優良製造所を受賞致しました。

表彰状
株式会社JSP
九州工場 殿
上條 明

12 December

アナリスト向け工場見学会開催

12月14日アナリスト向けの工場見学会を四日市第二工場にて実施致しました。

2017

1 January

「平成29年3月期第3四半期　決算短信」を発表

1月31日、東京証券取引所にて平成29年3月期第3四半期決算短信を報告し、対外発表致しました。

3 March

QCサークル活動全国大会開催

3月4日、当社恒例のQCサークル活動発表全国大会を東京国際フォーラムにて開催致しました。全国54サークルから選抜された11サークルと中国無錫工場の発表があり、日頃取り組んできたテーマと成果を発表致しました。今大会では当社グループ会社であるJSPモールディングのモールドインパクトサークルが金賞を受賞し、中国無錫工場が特別賞を受賞致しました。

4 April

入社式開催

4月1日本社にて入社式が行われました。新たに入社した社員は各部署に配属され今後の活躍が期待されます。

「平成29年3月期決算短信」を発表

4月28日、東京証券取引所にて平成29年3月期決算短信を報告し、対外発表致しました。

5 May

決算説明会開催

5月18日、JPタワーホール＆カンファレンスにおいて、アナリスト・ファンドマネージャーに対し、平成29年3月期決算の説明会を開催致しました。

6 June

定時株主総会開催

6月29日、定時株主総会を開催致しました。尚、当定時株主総会において取締役の選任・決定を致しました。

株主優待制度／配当実績

Shareholder Benefit/Dividend Record

株主優待制度

〈デザイン見本〉

■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元（100株）以上を保有されている株主様

■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード（株主様は3,000円全額ご使用いただけます）

■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、（公社）国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

配　当　実　績

■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

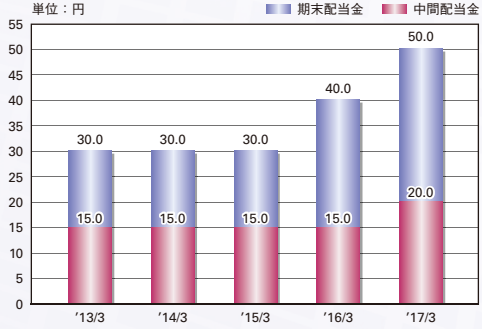
内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行うことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

■当期配当金

平成29年3月期の1株当たりの配当金は50円、支払い済みの中間配当金を差し引いた期末配当金は1株当たり30円とさせていただきます。

■配当実績



会社情報（2017年3月31日現在）

Corporate Data

会社概要

商号	株式会社JSP
所在地	本社　東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木・建築工事の設計・請負および管理
設立	1962年（昭和37年）1月
資本金	10,128百万円
決算期	3月
従業員数	744名（出向者除く） 連結2,855名（国内：1,300名、海外：1,555名）
事業所他	5営業所、1出張所、11工場、2研究所
主要関係会社	国内9社、海外28社

大株主

株主名	株数（千株）
三菱瓦斯化学株式会社	16,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,652
JSP取引先持株会	1,021
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	999
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	574
JP MORGAN CHASE BANK 385166	343
JSP従業員持株会	321
日本生命保険相互会社	243
MSIP CLIENT SECURITIES	203
CHASE MANHATTAN BANK GTS CIENTS ACCOUNT ESCROW	186

当社は自己株式1,602千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。）

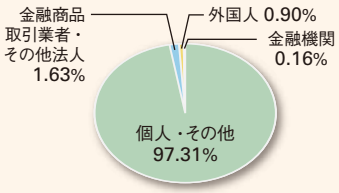
（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

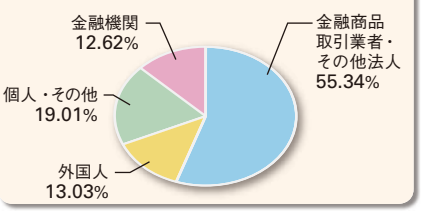
株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	31,413,473株
株主総数	18,182名

● 株主数別分布状況 ●



● 株式数別分布状況 ●



音楽があふれる街

アメリカ　ニューオーリンズ

撮影・文
菅原 千代志（フリー写真家、㈳日本写真家協会会員）

1970年代初頭から各国を旅し、民族文化をテーマに北米、イベリア半島を中心に多くの海外取材を手掛け、新聞・雑誌などに写真とエッセイを発表。『アーミッシュ／もうひとつのアメリカ』ほかの著書がある。

19世紀半ばのネグレス広場の様子を伝えるレリーフ

アメリカ南部の街、ルイジアナ州ニューオーリンズ※1は、ミシシッピ川がメキシコ湾に注ぐ広大なデルタ地帯にあり、ジャズ発祥の地として知られています。歴史的な背景からスペイン、フランス、アフリカ、カリブ海の文化が入り混じり、他のアメリカの街には見られない特異なエキゾチシズムを醸し、それがこの街の音楽や料理に反映されています。

ヴュ・カレ（古い区画）とも呼ばれるフレンチ・クォーターは、アイアン・レースで飾られたバルコニーの家並みが美しく、通りにはジャズ・クラブをはじめケイジャン※2やザディコ※3といった特有の音楽を聴かせる店が軒を連ね、ストリート・ミュージシャンや大道芸人の活動の場にもなっていて、まさに音楽のるつぼです。

ジャズの発祥は定かではありませんが、19世紀半ば、市壁の外に自家製品の売買や祝いごとに利用されたネグレス広場と呼ぶ市場があり、休日に奴隷や自由黒人たちが集まって手製の楽器で音楽を奏で、踊ったことから始まったともいわれます。20世紀に入ると、すぐ近くのストーリービルという歓楽街が演奏の場となり、腕を磨いて人気を得るミュージシャンが登場しました。「サッチモ」ことルイ・アームストロングやシドニー・ベシェなどです。ストーリービルの閉鎖後演奏の舞台はフレンチ・クォーターに移り、ジャズ・クラブやジャズ・レストラン、そしてより自由な活動を志す路上の音楽家たちが多くの聴衆を惹きつけるようになったのです。

ネグレス広場はのちにコンゴ・スクエアと呼ばれ、広さが約130㎡と広大なルイ・アームストロング公園の一画に小さな広場として残され、国定史跡に指定されています。池や噴水のある公園内には劇場や公会堂、そしてサッチモの銅像やベシェの胸像、音楽にちなむ様々なモニュメントなどがあり、ジャズ・ファンを魅了する場所になっています。

※1　ニューオーリンズ
ミシシッピ川が運ぶ年間4億6千万トンに及ぶ泥土が堆積して出来た湿地帯を川が蛇行し、弧を描いた岸辺につくられた街でクレッセント・シティ（三日月の街）とも呼ばれます。自由でコスモポリタンな雰囲気は、テネシー・ウイリアムス、スコット・フィッツジェラルド、小泉八雲、ウイリアム・フォークナー、マーク・トウェインなどの作家を魅了し、多くの作品を残され、また美食の町としても知られます。

※2　ケイジャン
フレンチ・インディアン戦争（1754－1763）の結果、カナダのアケーディアを追われルイジアナの湿地帯に住み着いたフランス系の人たち。ケイジャン・フレンチと呼ばれる言葉を話し、ケイジャン音楽や「ジャンバラヤ」「ガンボ」などスパイシーなケイジャン料理でも知られる。より洗練され都会的なクレオール料理との共通点も多い。

※3　ザディコ
アコーディオンやフィドル（バイオリン）などで演奏されるダンス音楽が基本のケイジャン音楽に、クレオール系黒人たちがブルースの要素を取り入れて生まれた音楽。ケイジャン音楽とは相互に影響し合っている。ラブボード（洗濯板を金属製の楽器に変えたもの）も演奏に用いられる。

Network

本社・事業所一覧

本　社			☎
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）	03-6212-6300
営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）	011-231-2681
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1（仙台興和ビル）	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17（五幸ビル）	092-411-6854
出張所			
広島	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20（もみじ広島光町ビル）	082-568-0566
工　場			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	(FAX) 0289-76-3227
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市小倉南区曽根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101
研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海　外

北　米

JSP International, LLC.（アメリカ）
JSP International de Mexico, S.A. de C.V.（メキシコ）

南　米

JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda.（ブラジル）

欧　州

JSP International SARL（フランス）
JSP International s.r.o.（チェコ）
JSP International o.o.o.（ロシア）

アジア

JSP Foam Products, PTE. Ltd.（シンガポール）
Taiwan JSP Chemical Co., Ltd.（台湾）
KOSPA Corporation（韓国）
JSP Plastics (Wuxi) Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd.（中国）
Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Dongguan) Co., Ltd.（中国）
JSP Plastics (Wuhan) Co., Ltd.（中国）
JSP Foam India Pvt. Ltd.（インド）
JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.（タイ）

JSP

発行　株式会社 JSP
東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル
広報IR室　TEL.03-6212-6306　FAX.03-6212-6302
ホームページ　www.co-jsp.co.jp

VEGETABLE OIL INK

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています